



力作ぞろいの作品を鑑賞する来場者

小規模でも継続を 江刈地区で文化祭

10月30日、江刈農村センターで江刈地区文化祭が開催され約200人が来場しました。同文化祭は、昨年は作品展示のみでしたが、今年はリースづくりの体験のほか、江刈中学校の生徒によるゲームコーナーも企画され、子どもたちを楽しませていました。また、手打ち蕎麦や手作りおやつなども販売され、来場者が次々と買い求めていました。野中克則副実行委員長は「コロナ禍でもやり方を工夫して開催でき、地域の皆さんの協力に感謝している。小規模でも続けていきたい」と話していました。

航空自衛隊音楽会 会場一体で楽しむ

11月13日、航空自衛隊北部航空音楽隊演奏会 inくずまきが葛巻小学校体育館で開催され、約230人が参加しました。鈴木重男町長は「プロフェッショナルの演奏を肌で感じて、明日からの活力にしてほしい」とあいさつ。「威風堂々」など定番の曲からドラマやアニメの主題歌など親しみやすいものまで幅広く演奏されました。鑑賞した本宮洋子さん(江刈)は「音楽隊が楽しそうに演奏するので気分が良くなった。会場を巻き込むパフォーマンスが最高だった」と満喫した様子でした。



拍手を送る皆さんと演奏する音楽隊の皆さん(円内)

冬に向け備え確認 火災防御訓練実施

令和4年度葛巻町消防団火災防御訓練は11月13日、江刈中学校周辺で行われ、第2中隊の団員44人が参加しました。訓練は中学校の給湯室から出火した想定で行われ、現場指揮本部の設置や中継送水などが行われました。町消防団の橋本秀雄団長は「寒くなり暖房を使うことが多くなるので、取り扱いには十分注意してほしい。火防点検の際には近くに燃えやすいものがないかよく見てほしい」とあいさつし、参加した消防団員や消防署員は火災が発生しやすい時期を迎えて気を引き締めていました。



中継送水訓練を実施する消防団員



賞賛状を伝達する岩手警察署の太田署長(中央)

死亡事故ゼロ7年 取り組みに賞賛状

町は10月26日で交通事故死亡ゼロ7年を達成しました。27日に総合センターで交通死亡事故抑止7年間継続賞賛状伝達式が行われ、関係者12人の出席のもと、岩手県警察本部長から町に賞賛状が贈られました。岩手警察署の太田淳署長は「交通指導隊、交通安全母の会の町民への啓発がこのような結果に繋がったと思います。より一層の取り組みを期待します」とあいさつし、関係者らは交通事故の抑止継続に意欲を見せていました。

新婚ライフを支援 3組に補助金交付

新婚ライフサポート金の交付式は10月27日、役場町長室で行われ、3組の夫婦に鈴木重男町長から補助金が交付されました。鈴木町長は「葛巻町は夫婦が安心して暮らせるまちづくりを行っていることを発信して欲しい。補助金は有効に活用していただき、うらやましがられる家庭を作ってください」とあいさつ。補助金を受け取った千葉秋穂さん(元木)は「二人で話し合って大事に使います」と話し、今後の家庭のためにより良い使い道を考えている様子でした。



あいさつする鈴木町長と出席した皆さん



式典で「喜びの言葉」を発表する児童たち

小屋瀬小140周年 思いと伝統つなぐ

明治15年9月に葛巻小学校の分校として開校した小屋瀬小学校(根反正樹校長、児童23人)が創立140周年を迎え、10月29日に同校で記念式典が開催されました。式典にはPTA会員や地域住民のほか卒業生や元教員など約70人が出席。全校児童による「喜びの言葉」の発表では、児童らが「140年の歩みの中に立つ私たち。多くの先輩方の思いと伝統を、これからの小屋瀬小学校の未来へつなぎます」と力強く述べ、出席者は同校のさらなる発展に思いを一つにしていました。